



オオキトンボの産卵の観察会

任意団体 NPO森からつづく道

松山市北条地域のため池+田んぼにおける生物多様性を解明する 農作業&生きものカレンダープロジェクト

入門助成

1年目

調査研究

調査対象の池

5カ所

生き物調査
実施回数

31回

活動の全体目標に
対する達成度

90%

課題

北条地域では池干しをするため池に希少種・オオキトンボが生息するが、住民に存在は知られておらず、生態と水管理の関連も解明されていないので、減少・絶滅の危険が高い。

目標

オオキトンボの生活史・発生消長調査と、聞き取りによるため池管理・農作業暦を「農作業&生き物カレンダー」にまとめて相互の関連を解明し、ため池管理がオオキトンボの生息環境の維持に寄与していることを示す。

活動内容

- 調査対象を2地区5池として、5月末～12月末までに31回の現地調査を実施してオオキトンボの生活史を解明するとともに、植生・水位・水質も記録した。
- ため池管理者から、年間のため池管理と農作業スケジュールの聞き取りを行った。
- 上記の結果を「ため池&田んぼと生き物ごよみ」及び解説書にまとめ、関係者に報告した。また一般市民にもサイエンスカフェ(本NPO主催)にて説明した。



ため池&田んぼと
生き物ごよみ

達成できなかったこと

オオキトンボ等の観察会は3回予定していたが、稲刈りなどの農作業と重なり、1回の実施にとどまった。

今後の展望

オオキトンボの里づくりプロジェクト(仮称)を企画し、3年度を目処に保全計画の策定を目指す。

成果と工夫したポイント



成果

ため池の水管理による環境をオオキトンボが産卵に利用する状況が記録され、ため池管理者が同種の保全に理解を示した。改修予定のため池1件の管理者と施工主(県農地整備課)が協議して工法を調整することとなった。

工夫

オオキトンボの生態とため池管理・農事暦を一枚のカレンダーとして表現することで両者の関係を視覚化した。